

Program

Tokyo Private School Concert 2025

17 テノール独唱

テノール 牛山 丈嗣 (成城学園中学校高等学校) ピアノ 多田 聡子

1. 献呈 / R.シュトラウス
2. 君はぼくの心の冠 / R.シュトラウス
3. ひそやかなる誘い / R.シュトラウス

【1】R.シュトラウスはヘルマン・フォン・ギルムの8つの詩に作曲した。これらはテノールのために書かれている。叔母の音楽教育への支援に対する感謝の念から彼女に贈ったと言われる。【2】1888年に書かれた。F.ダーンの詩によるもの。同年に交響詩「ドン・ファン」を作曲している。簡潔で古典的スタイルでありモーツェルトを彷彿とさせる。【3】J.H.マッケイの詩に作曲されている。酒に酔った賑やかな人々の中で、男性が女性を口説く様子とその後の逢瀬への誘いが描かれている。

18 ソプラノ独唱

ソプラノ 柏木 瑞恵 (聖ドミニコ学園中学高等学校) ピアノ・作曲 酒井 威志 (聖ドミニコ学園中学高等学校)

1. 抒情の手 / 酒井威志
2. ヴィラネル(牧歌) / E.デラックア

【1】作詞者の津村信夫は、明治末から昭和前期までの三十余年を生きた詩人。少少年下に、やはり天逝の(詩誌の同人でもあった)立原道造がいる。死者は永遠に若く、過ぎた時間は記憶の中で生き続ける、と思いつつ「美しい日和」への惜別に寄せる音を選んでいった(酒井)。【2】ベルギーの女性作曲家、デラックアによるフランス歌曲。「朝の澄んだ空を、太陽とジャスミンの薫る国へ飛んで行くツバメを見ていたら、私も夢の国へ誘われてしまった...」甘美な旋律と鳥のさえずりを思わせるカデンツァが魅力的な曲である。

19 ソプラノ二重唱

ソプラノ 須藤 美香・石井 実香 (サレジオン国際学園世田谷中学高等学校)
ピアノ 福田あき子

1. 信じたくない、お前たちなんて / G.F.ヘンデル
2. ある日のたび / 木下 牧子

【1】人を愛することの苦悩、恋の酷さを歌ったもので、表題曲を含め全3楽章からなる。第1楽章と第3楽章は、のちに《メサイア》の中の合唱曲に改作されている。【2】歌曲集《花のかず》はシンプルで奥深い世界を描き出す岸田裕子さんの詩をテキストに、優しさ、切なさ、幻想、言葉遊びのユーモア、といったさまざまな表情を9編にまとめたもの。一見シンプルでわかりやすい譜面だが、独特の和声進行やフレーズの長さを持っており、短いながらそれぞれにドラマがある曲集である。

20 フルートとピアノのデュオ

フルート 鎌田 麻衣子 (下北沢成徳高等学校) ピアノ 小田切 舞美 (貞静学園中学校・高等学校)

1. フルートとピアノのためのソナタ作品52 第3楽章(終曲) / C.ケクラン

パリ国立高等音楽院でマスネのもとで、のちにフォーレのもとで作曲を学んだケクランは、フォーレクラスの同級生ラヴェルやシュミットらとともに独立音楽協会を設立するなどパリ音楽界の第一線で活躍した。晩年にはフルート独奏のための96曲に及ぶ《ネクターの歌》を作曲したが、この〈フルートソナタ〉はケクランの壮年期における作品である。ケクランらしい和声の彩りと多面的な魅力に溢れた曲である。

21 バス独唱

バス 梶取 弘昌 (大妻中学高等学校) ピアノ 荒井美穂・西岡 真澄 (大妻中学高等学校)

1. 叱られて / 弘田 龍太郎
2. ミュージカル「オペラ座の怪人」より「夜の調べ」 / A.L.ウェバー

【1】今の時代は考えられませんが、昔は口減らしのために奉公に出される子どもがいました。遊びたい盛りの子どもの町まで使いに出され、もう1人は子守を言いつけられます。寂しい夕暮れの小道。「こん」と狐が出てきたりするんじゃないか。2人は山を越えた向こうの村から奉公に来ています。桜のきれいな村に早く帰りたい。いつになったらその思いは叶うのでしょうか？【2】怪人ファントムがクリスティエヌに向かって歌います。魅惑的で神秘的な世界へ彼女を誘い込みます。夜の静けさと闇は人の感覚を研ぎ澄まします。

22 メゾ・ソプラノ独唱

メゾ・ソプラノ 藤山 さわ子 (東京農業大学第一高等学校・中等部) ピアノ 田邊 紗世

1. 夢 / F.スキエラ
2. 淡月梨花の歌 / 大中 恩

【1】イタリアの作曲家スキエラの歌曲。SognailはSognare(夢を見る)の遠過去。正確には、私は夢をみた。と訳される。夢の中で恋人のリーザと口づけを交わした彼の、恍惚とした思い、恋の永遠を願う気持ちが歌われる。【2】五つの抒情歌(その2)の1曲目。佐藤春夫の詩による。手に團扇を持って立っている美しい舞姫のうつし絵をみて書かれた詩。ここで歌われている女性は谷崎潤一郎夫人で、後に佐藤春夫の妻となる、元芸者の千代とされている。流れるような旋律が特徴的である。

23 ソプラノ独唱

ソプラノ 宮内 優子 (和洋九段女子中学校高等学校)
ピアノ 安間 咲葵子 (和洋九段女子中学校高等学校)

1. 霧と話した / 中田喜直
2. 歌劇「トスカ」より「歌に生き、恋に生き」 / G.プッチーニ

【1】各連の終わりの行が次の連の第1行となり、リピート効果で印象深い詩となっている。1960年に作曲され、破れた恋の記憶をしっかりと抒情的に歌った日本歌曲の傑作。【2】舞台は1800年、ローマ。第2幕フェルネーゼ宮殿内の警視総監スカルピアの部屋。脱獄政治犯を匿った罪で逮捕され、拷問にかけられた恋人のカヴァラドッシを助けようと、スカルピアに身をまかせることを決心したトスカが、「なぜ、神様はこのような辛い運命を私にお与えになるのですか」と涙ながらに歌うアリア。

一般財団法人
東京私立中学高等学校協会 会長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所 所長 平方 邦行
芸術体育生活系教科研究会 委員長 小島 綾子 (聖パウロ学園高等学校)
(音楽) 委員 暮林 直樹 (品川学芸高等学校)
委員 渡部 真由香 (品川女子学院中等部・高等部)
委員 牛山 丈嗣 (成城学園中学校高等学校)
委員 吉田 明美 (白梅学園高等学校)



[東京私学教育研究所 ウェブサイト]
<https://k.tokyoshigaku.com>

第58回

東京私立中学高等学校

教職員音楽会

東京の私学教職員による
冬の午後のスペシャルコンサート

2025 1.12 [日]

[開場] 12:00 [開演] 12:30 [終演] 16:00 (予定)

[会場] 東京オペラシティリサイタルホール (B1F)

主催 一般財団法人
東京私立中学高等学校協会 東京私学教育研究所

共催 公益財団法人
東京都私学財団

Program

Tokyo Private School Concert 2025

01 ピアノ独奏

ピアノ 荒 由香里（國友学園女子中学高等学校）

1.リゴレット・バラフレーズ / F.リスト

ヴェルティの歌劇《リゴレット》の第3幕で歌われる四重唱（美しい恋の乙女よ）を基に作られた曲で、後半の二重唱の冒頭から始まり、それに続く主部ではマントヴァ侯爵の歌い出しの旋律が続く、というように四重唱の原曲の形よりは、その情景と雰囲気を生かして全く別の曲としてまとめられている。リストの編曲作品は約200曲もあり、自身の演奏技術を披露するだけでなく、ラジオやテレビもない時代に多くの人に色々な曲を広める役割があったと言われているが、その中でも特に演奏される機会が多いのが本作である。

02 バリトン独唱

バリトン 酒井 一樹（ドルトン東京学園中等部・高等部） **ピアノ** 増田 桃香

1. 星 D.806 / F.シューベルト 2. 憧れ D.636 / F.シューベルト

【1】シューベルトは生涯に20回以上の引っ越しをしており、その多くは友人宅での居候であった。この曲の作詞者であるマイヤーホーファーとは1818年秋より約2年間の同居生活を送り、また彼の詩に46曲の歌曲を作曲するなど、親しい友人関係にあった。静かな優しさや美しさに満ちた曲である。 **【2】**シューベルトは、「憧れ」というタイトルをもつ詩に5曲ほど付曲した。シラーの詩によるこの作品は、1818年頃に作曲、1821年2月8日の楽友協会のコンサートで演奏された。詩の内容に合わせて非常に変化の激しい曲である。

03 ソプラノ独唱

ソプラノ 原島 秀子（明治大学付属八王子中学・高等学校） **ピアノ** 平澤 彩夏（明法中学・高等学校）

1. 喜ばせてあげて / V.ベッリーニ
2. オペレッタ「メリー・ウィドウ」第2幕より“ヴィリアの歌” / F.レハール

【1】作曲家ベッリーニが28歳の1829年に出版された「6つのアリエッタ」の第6曲。“たとえ私の心が楽しまなくとも、私の美しいあの方を、喜ばせてください。私は自分の中に生きる以上にあの方の中に生きているから、自分の苦しみよりもあの方の苦しみが気がかりです。”と歌われる、とくに美しいとされている歌曲の1つである。 **【2】**第2幕の幕開け、ハンナがダニロを想い歌う、バルカンの民族色濃い故郷の歌。ヴィリアと呼ばれる妖精の歌は決して昔話ではなく“狩人がダニロであってくれば”と願うハンナの切ない愛の歌である。

04 ソプラノ独唱 / トロンボーン独奏

ソプラノ 松田 乃利子（品川学藝高等学校） **トロンボーン** 暮林 直樹（品川学藝高等学校）

ピアノ 小川 教子（品川学藝高等学校）

1. 夢のあとに / G.フォーレ 2. 組曲Op.22より第3楽章 / A.ヨルゲンセン

【1】G.フォーレによって1877年に作曲された歌曲で、元々は、イタリアのトスカーナ地方に古くから伝わる詩で、ロマン・ビュシーヌがそれをフランス語に翻訳しました。 **【2】**A.ヨルゲンセンはデンマークの作曲家で、ヴァイオリン奏者・ヴィオラ奏者としても活躍しました。本作品はOp.21ロマンスと共にトロンボーンのレパートリーとして広く親しまれています。

05 バリトン独唱

バリトン 小林 秀年（法政大学中学高等学校） **ピアノ** 金井 由里子

1.凍結 / F.シューベルト 2.菩提樹 / F.シューベルト

シューベルトはウィーン生まれの作曲家。31年という短い生涯の中に600曲以上のドイツ歌曲を生み出し「歌曲の王」と呼ばれている。「凍結」「菩提樹」はシューベルトの最晩年の傑作、歌曲集「冬の旅」の4曲目と5曲目にあたる。 **【1】**3連符のピアノが畑を吹き荒らす寒風を描き、歌とピアノを対位的に絡ませることで若者の心の緊張感を高めている。 **【2】**音楽的にも精神的にも「冬の旅」の中核を担う極めて高度で重要な曲。民謡的な調べとともに比類のない美しさで、世界的に有名な歌である。

06 ソプラノ独唱

ソプラノ 吉田 明美（白梅学園高等学校） **ピアノ** 富田 理紗

1.6番 オペラ「カプレーティ家とモンテッキ家」より ああ、幾度か / V.ペッリーニ

ペッリーニはバル・カントオペラの代表的な作曲家で、美しい旋律はショパンにも影響を与えた。甘美だけでなく、深い憂愁と気品が感じられる旋律は他に類のない感動を与え、哀愁に満ちた音楽が心に沁みる。台本はシェイクスピアの悲劇「ロメオとジュリエット」の元となったイタリアの古い説話や戯曲「ジュリエッタとロメオ」にもとづいて、F.ロマーニが手掛けた。アリア「ああ、幾度か」は第1幕で父親が決めた婚約者との結婚を前に、婚礼の衣装を身にまとったジュリエッタが部屋で結婚への悲しみや憤りとロメオへの愛を歌う。

07 ピアノ独奏

ピアノ 市川 里奈（日本工業大学駒場中学校・高等学校）

1.ポロネーズ1番 嬰八短調 Op.26-1 / F.ショパン

ポロネーズとは、フランス語で「ポーランド風の」という意味をもち、ポーランドの民族舞踊（舞曲）のことをいう。2拍目にアクセントがあり、弱拍で終わるのが典型である。ショパンは、ポロネーズを7歳から作曲していたと言われている。嬰八短調Op.26-1は1836年のパリ滞在中に作曲され、初めて作品番号を付けて出版されたポロネーズである。“舞踏”が起源のポロネーズに、ショパン特有の情緒豊かな旋律や、繊細さや力強さが加わり、嬰八短調と変二長調の対比が美しく表現された作品である。

08 チェロ / ピアノ

チェロ 井戸 輝（NHK 学園高等学校） **ピアノ** 小尾 亜希子（NHK 学園高等学校）

1.チェロソナタ第4番八長調 作品102-1 第一楽章 / L.v.ベートーヴェン

この曲は、ピアノの名手アンナ・マリア・エルデティー伯爵夫人とチェリストのヨーゼフ・リンケに献呈されている。ベートーヴェンは中期のころの代表作としてチェロソナタ第3番が有名であるが、第4番は後期の作品として、非常に内省的、幻想的な雰囲気を漂わせている。2つの楽章が連続した単一楽章との見方もある。今回演奏する第1楽章は、ゆったりと穏やかな雰囲気の前章から突如、全く異なる緊張感と焦燥感に満ちた激しいパッセージにより、最後まで一気に駆け抜ける。1815年ベートーヴェン44歳の作品。

09 バリトン独唱

バリトン 芝池 龍蔵（駿台学園中学・高等学校） **ピアノ** 小田野 直子（駿台学園中学・高等学校）

1.もう飛ばまいぞこの蝶々 歌劇「フィガロの結婚」より / W.A.モーツァルト
2.準備はできた～目をちょっと開け 歌劇「フィガロの結婚」より / W.A.モーツァルト

【1】第1幕の終わりにフィガロによって歌われるアリア。早熟で恋の戯れに過ぎる小姓のケルビーノは伯爵の怒りを受けて連隊の士官に任命される。つまり宮廷の歓楽の空気の中に暮らすことができなくなる。彼の意気消沈した様子をかからかいながら歌う。 **【2】**第4幕。新妻のスザンナが伯爵と逢引すると思い込んだフィガロが自分の立場を嘆き、世の男たちに「目を開いてよく見なさい。女性がどういものかを」と歌う。結局は勘違いであり、大団円となってオペラの幕が下りる。

10 ソプラノ独唱

ソプラノ 林 千夏（松蔭大学附属松蔭高等学校） **ピアノ** 中井 裕司

1.オペラ「ジュリオ・チェーザレ」より～この胸に息のある限り / G.F.ヘンデル

歌劇「ジュリオ・チェーザレ」はヘンデルのオペラ作品の中で最も上演機会が多いオペラ。古代ローマの英雄カエサルがエジプト遠征で戦った「ナイルの戦い」を題材に、クレオパトラとの恋物語が展開する。クレオパトラは弟のトロメオオ軍との戦いに敗れたため、囚われの身となる。チェーザレが死んだと聞かされて（実は生きていたが）悲しみに打ちひしがれて歌うアリア。運命を嘆く大変美しい旋律からはじまるが、中間部では「死んだ後には亡霊となり、昼も夜も暴君を苦しめてやる」という激しい感情が表れるのがクレオパトラらしい。

11 ピアノ独奏

ピアノ 藏本 祥太（自由ヶ丘学園高等学校）

1.Étude Op.10-8 F-dur / F.ショパン
2. Études d'exécution transcendante S.139 No.10 f-moll / F.リスト

【1】右手は16分音符のパッセージを続け、左手は内声に新しい旋律を伴います。左手と右手の性格は対照的ですが、最後はユニゾンで煌びやかに終わりを迎えます。 **【2】**特殊なテクニックや書法の盛り込まれた作品です。上行形とため息のような下降形とのモチーフがからみあい、最後まで不安定な印象を残します。打楽器的に演奏されることで激しさを表現する部分もあります。

12 ヴァイオリンとヴィオラ二重奏

ヴァイオリン 角谷 万佐子（中村中学校高等学校） **ヴィオラ** 永山 聖子

1.ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏 作品7-1より1楽章 / F.A.ホフマイスター

フランツ・アントン・ホフマイスターはドイツ出身で、古典派時代にオーストリアで活躍をした、楽譜出版業者であり、作曲家兼フルーティストです。かれは学習者用のために多くの二重奏曲を書き残しました。本日演奏する作品7番は3曲あり、どの曲も構築力のある古典ソナタ形式で、3楽章構成の技巧的なものとなっています。本日はその中より1番の1楽章を演奏します。この曲はフルートとクラリネットでも演奏されます。

13 バリトン独唱

バリトン 松本 稔弘（成城中学校・成城高等学校） **ピアノ** 筋内 一廣（羽田国際高等学校）

1.歌劇「アッティラ」第2幕より(エツィオのアリア)“フン族と休戦だど!”～アリア「不滅の美しい栄光の頂から」～カバレッタ「わが運命の翼は投げられた」 / G.ヴェルディ

実在した王アッティラ（フン族の王）を主人公としています。5世紀半ばフン族は勢力を増し、ローマも危機に陥ろうとしています。第2幕ローマ將軍エツィオに、アッティラと休戦が告げられローマへ帰ってくるよう命令が届きます。不満と怒りを覚えつつも、祖国ローマへ戻ることを決めます。そこに、アッティラの奴隷たちが現れ「アッティラのもとへお越しください。」と要請します。その中にフォレストが混じっていて、アッティラの殺害計画を打ち明けて協力を頼みます。エツィオはそれを承諾し、アッティラを滅ぼすことを誓って歌います。

14 ソプラノ独唱

ソプラノ 久保 康子（灘野川女子学園中学高等学校） **ピアノ** 齋藤 誠二

1.マッティナータ(朝の歌) / R.レオンカヴァッロ
2. 歌劇(清教徒)より“あなたの優しい声か” / V.ペッリーニ

【1】レオンカヴァッロによって1904年に作詩、作曲された。男性が敬愛する女性のために明け方その人が住む家の窓の下で歌う音楽のことをイタリア語で「マッティナータ」という。 **【2】**17世紀、清教徒革命中のイングランドが舞台。エルヴィーラは恋人のアルトゥーロと結婚することに。皆が集まり城で結婚を祝うが、その城には王妃が閉じ込められていると知りアルトゥーロは王妃をこっそり逃がすため二人で城から脱出する。エルヴィーラはアルトゥーロが他の女性と逃げたと勘違いし錯乱してこのアリアを歌う。

15 ピアノ独奏

ピアノ 黒沼 佳那（普通土学園中学校高等学校）

1.バラード 第3番 変イ長調 作品47 / F.ショパン

1841年、ショパンがマジョルカ島で患った病から解放され、ノアンとパリで充実した日々を送っていた頃に作曲したこの曲は、ショパンが最も好んで演奏した曲と言われている。R.シューマン は「この曲はその形式、特徴において、あきらかに彼の初期の作品と相違して、最も独創性に富んだ創作に属しているといわねばならない。フランスの首都の貴族的環境に順応した、洗練された知的なポーランド人が、そのなかにあきらかに発見されるであろう」と述べており、バラード全4曲のうち、最も繊細で華麗、そして優美な曲である。

16 チェロ独奏

チェロ 和田 徹也（明法中学・高等学校） **ピアノ** 平澤 彩夏（明法中学・高等学校）

1.チェロソナタ第1番Op.38より第3楽章 / J.ブラームス

チェロソナタ第1番(ホ短調・作品38)は、1962年から1865年にかけて若かりしブラームス(29-32歳)が作曲した初期の作品です。作風は彼が敬愛したバッハの影響を色濃く受け、チェロとピアノが対等に対話しながら深い感情を繊細に表現しています。構成は全3楽章から成り、第1楽章は重厚で力強く、第2楽章は優雅で軽やか、終楽章は緊張感と躍動感が特徴的で、古典的な構造美とロマン派の抒情性が見事に融合した傑作です。本日は、第3楽章Allegro(ホ短調・4分の4拍子)のみの演奏となります。